

## 留学生の声エッセイ

経済学部 ウィ ジュンヒ(韋淮熙)

### 私の人生において忘れることのできない一ページ

皆さん、こんにちは。

私は韓国の東西大学から来た留学生のウィ・ジュンヒと申します。

2025年9月に日本へ入国してから、気がつけばもう4か月が経ちました。

日本に到着したばかりの頃は、すべてが新鮮で、慣れない環境に適応することに精一杯な日々を送っていました。しかし今では日本での生活にもすっかり慣れ、1学期という短い留学生活がまもなく終わってしまうことを、以前よりも強く惜しく感じるようになりました。そのためか、最近は期待と寂しさが入り混じった、どこか落ち着かない気持ちで毎日を過ごしています。

私は城西大学の経済学部にも所属し、授業を受けています。

経済学は社会全体と密接につながっている学問であり、学べば学ぶほどその価値を実感しました。特に近年、環境問題への関心が高まる中で、経済学が環境問題とも深く結びついている点が印象的でした。こうした授業を通して、経済学をより広い視点から捉えることができるようになり、学業に対する興味も一層深まりました。

このように、学業面だけでなく多様な経験を積むことができた留学期間中、日本での生活は大切な思い出で満ちていました。



国際課のプログラムを通じて日本の小学校を訪問し、韓国について紹介したり、子どもたちと一緒に遊んだり会話をしたり、給食を共にする機会がありました。明るく元気な子どもたちと交流する時間は、私自身にとっても大きな喜びとなり、文化交流の意義を肌で感じる事ができた貴重な経験でした。もしこのような機会があれば、ぜひ一度参加してみることをおすすめしたいです。

<小学校の給食>

私は交換留学生として、学問と同じくらい、さまざまな場所を訪れ、実際に体験することが重要だと考えています。



<大阪、花火大会>



以前から日本の花火大会に憧れを抱いていましたが、香川で留学中の友達に誘われ、大阪で一緒に花火を見に行くことができました。秋の涼しい夜、屋台で軽食を買い、夜空に打ち上がる華やかな花火を眺めた時間は、今でも鮮明に記憶に残っています。20分ほど経った頃、突然の豪雨に見舞われ、友達とともに全身ずぶ濡れになってしまいましたが、その出来事さえも今では笑って思い出せる、大切な思い出となっています。



<江の島>



<鎌倉>

その後は鎌倉や江ノ島を訪れ、写真には収めきれないほど美しい風景を自分の目で見ることができました。海や街並み、そしてゆったりとした空気感は、長く心に残る瞬間となりました。



また、ハリー・ポッターが好きな方であれば、ぜひ一度訪れてほしい場所がハリー・ポッター・スタジオです。見学中は時間を忘れるほど没頭してしまい、4時間があっという間に過ぎてしまいました。それでもなお名残惜しさを感じるほど、非常に印象深い体験でした。

#### < ホグワーツ行いの列車 >    < ドビーと一緒に >

さらに、以前韓国で出会った日本人友達と、日本で再会し、再び語り合うことができたのも特別な思い出の一つです。慣れ親しんだ友人たちと異なる場所で再会できたことは、不思議でありながらも非常に嬉しく、留学をしたからこそ得られた大切なご縁だと感じました。

城西大学で過ごしたこの思い出は、私の人生において忘れることのできない一ページとなりました。

短い期間ではありましたが、学問的な成長に加え、多くの人や経験を通して自分自身を見つめ直し、成長することができた貴重な時間でした。この場所で得た思い出は、これからも長く心に残り続けると思います。